

# いたちかわらばん

通刊28号

颯川・独川 / 川原番・瓦版

05 冬号



(版画 宗森英夫)

扇橋から真東に見える富士山

雪を冠った秀麗な富士山の姿は冬の風景の代表です。富士見町、富士見坂、富士見台という地名が関東のあちこちで残っていることが示すように、富士山は、かつては展望の対象として、いたるところで見られていました。大気汚染や建物などによって、現在では展望できる地域が極端に狭まり、空気の澄んだ冬の時期に高所からのみ見られる風景になってしまいました。

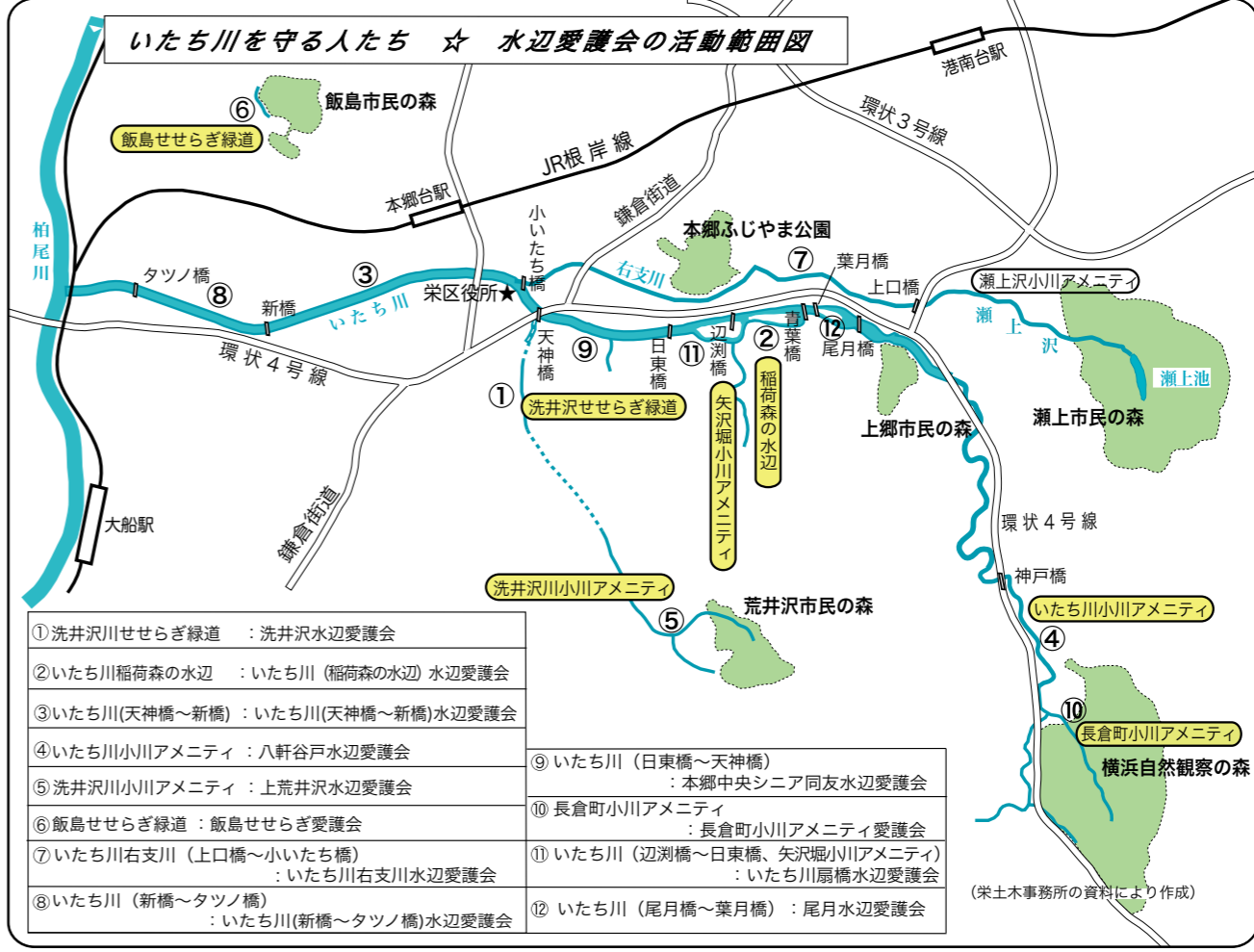
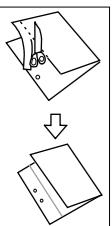
今回はいたち川沿いの富士山展望をテーマにしました。中野町の本郷ふじやまは、かつては富士講の山として崇められたことから、当時は当然富士山が展望できたと思われませんが、現在では樹木の成長で山頂付近でも見ることが出来ません。高層マンションからの眺めを別にすれば、いたち川沿いの山地からの展望のなかでは、上郷市民の森と円海山周辺の尾根道が展望の好ポジションです。特に上郷市民の森の展望台からは前景に遮るものがなく、富士箱根、丹沢山系、伊豆半島北部の山々が望まれる。冬の良く晴れた日には秩父山地まで見ることが出来ますが、杉の成長により視界が徐々に狭まっていくのは残念です。上郷市民の森の森づくりを進めているボランティア団体「上郷森の会」では展望台からの眺めを皆さんが楽しめる様に展望マップの作成を計画しています。

富士山展望のもう一つの魅力に夕焼けの空に沈むシルエットの富士山があります。「ダイヤモンド富士」という言葉をお聞きになった方もおられると思いますが、日没の状況のなかで特に素晴らしいのが富士山の頂上に太陽が沈む瞬間（富士山の西側では山頂から太陽が昇る瞬間）にダイヤモンドが光り輝くような光彩が見られることから付けられた名称です。太陽が富士山頂にかかるのは限られた地域と時期に当たり貴重な現象です。田代博士のご指導によれば、上郷市民の森の展望台から見られる今年のダイヤモンド富士は、三月二四日一七時四一分頃のことです。次のダイヤモンド富士は半年後の九月二六日（昨年は九月一九日一七時二八分頃でした）とのこと。当日の晴天を期待しましょう。

参考文献 田代博監修「山と地図のフォーラム」編『富士山展望百科』実業の日本、一九九八発行

切り取り線

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



日頃、川掃除、除草などを行い、いたち川の環境を守って下さっている12の水辺愛護会を紹介致します。

- (活) 活動日および活動月 を示す
- ① 洗井沢川水辺愛護会 会員30名 (活) 6、9、11、3月の年4回、桂古田消防小屋～天神橋間を清掃。
  - ② いたち川 (稲荷森の水辺) 愛護会 会員125名、(活) 役員が1～2名で毎日巡回清掃。ほかに5月、10月の年2回役員25名余が刈払機で除草。3世代交流イベントとして、1月14日にサイト焼、5月5日に鯉のぼりを泳がす。
  - ③ いたち川 (新橋～天神橋) 水辺愛護会 会員50名、(活) 毎月第1または第4日曜。会を結成して8年、活動範囲も水辺よりプロムナードへ、メンバーも熟年組より子供へと拡がり、無理をせず、出来る時に楽しくをモットーにしています。
  - ④ 八軒谷戸水辺愛護会 会員14名、(活) 毎月1回いたち川上流部の愛護会です。横浜市最古の石橋といわれる昇龍橋があり、河辺は畑や林でのどかなところ。です。
  - ⑤ 上荒井沢水辺愛護会 会員85名、(活) 毎月第1土曜日、荒井沢市民の森より岡岡様宅前までを市民の森愛護会会員が兼ねて清掃しています。毎週1回清掃パトロールをする。
  - ⑥ 飯島せせらぎ愛護会 会員30名、(活) 年4回町内会全体に呼びかけ除草・清掃を行う。毎年飯島上町商店街で

- 域の活性化を図るため、飯島せせらぎ緑道祭を実施している。
- ⑦ いたち川右支川水辺愛護会 会員13名、(活) 毎月第1日曜。扇橋水辺愛護会と6名でゴミ拾い草刈り。上口橋から上郷高校下までは個人で清掃。道路沿いなので粗大ゴミの放置が多いのが悩み。上流部ではホタルが増えてきました。
- ⑧ いたち川 (新橋～タツノ橋) 水辺愛護会 会員13名、(活) 毎月第4日曜。いたち川の環境を良くして、快適に水辺とふれあえるように美化活動を行っています。
- ⑨ 本郷中央シニア同友水辺愛護会 会員9名、(活) 月2回水曜。我々愛護会は他の愛護会と異なり遊歩道の清掃および除草を少人数で行っている。
- ⑩ 長倉町小川アメニティ愛護会 会員102名、(活) 毎月第2土曜日。いたち川源流で横浜自然観察公園からの親水散策路です。6月初旬にはホタルが楽しめます。
- ⑪ いたち川扇橋水辺愛護会 会員18名、(活) 毎月第3日曜、川沿いの斜面に花壇を設け花を植え、看板を作りゴミを捨てない様PRを行っている。夏にはいかだ祭りしている。
- ⑫ 尾月水辺愛護会 会員19名、(活) 毎月第2土曜 会員の95%の人が毎回参加されていて清掃作業がしやすい。カワセミを始めいろんな鳥が見られるようになりました。

発行：独川OTASUKE隊 (いたちがわおたすけたい)  
 OTASUKE隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係 電話 247-0005 横浜市栄区桂町303-19  
 TEL 045-894-8331 FAX 045-895-2260  
 栄土木事務所下水道係 電話 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1  
 TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421  
 (お便り・お問い合わせはこちらまで)

発行年月 2005年1月  
 通刊28号



# いたち川流域に連続して台風襲来!

- ◇ 昨(平成16)年の秋、いたち川流域を含む柏尾川流域、さらには大本の境川流域を含め、神奈川県域を続けざまに襲った台風には、あらためて、自然災害のもたらす影響の大きさと、防災の重要性を教えられました。
- ◇ 流域で進んだ宅地開発の影響を受けて川沿いで進んだ昭和50年代の浸水被害を思い出した方、古くから住む方々から聞いた話を実感された方、様々だと思います。被害を受けた方々のご心労を察するとともに、少しでも早い復旧をお祈りします。

## ●いたち川を見守る眼

日頃から川の清掃な  
を通じて、いたち川を  
見守っている愛護会の方  
から、今回のいたち川  
の状況や、お感じにな  
ったことをアンケート  
により伺いました。

### ○ 飯島せせらぎ緑道愛護会

「飯島市民の森からの土石流によりせせらぎ緑道が埋まってしまい、下流の家が水びたしになった。土石流があっても被害を出さない水はけが必要だと痛感した。」

### ○ いたち川(天神橋-新橋)愛護会

「ここ2、3年、水辺では帰化植物の大ブタ草・荒地ウリに我が物顔で席卷され放題だったが、23号台風でもの見事一掃され真に超キモチいいでした。」

### ○ いたち川右支川愛護会 「ゴミが流されとて

もきれいになりましたが、片瀬海岸の海底はビニールの山。台風の被害以外にも、瀬上沢(上郷高校南側草原)の粗大ゴミの不法投棄には参る。

### ○ いたち川(新橋~タツノ橋)愛護会

「川の増水によって川岸の木に折れた枝や草の茎等と一緒にいたる所で様々なゴミが張り付いたり引っかけた状態が見受けられ非常に見苦しくなったのでそれらを取り除く作業を臨時に行った。」



上荒井沢：荒井沢谷戸の崖崩れ

### ○ いたち川扇橋水辺愛護会

「台風の後には川岸がビニール等で汚れが目立つので定期清掃にこだわらずできるだけ早く清掃した方が良くと思いました。」

### ○ 上荒井沢水辺愛護会

「水辺の奥にある山が崩れ水があふれてしまいました。水が引いた後、土が残る歩くのも大変ですし、乾くとホコリっぽく大変でした。」

### ○ いたち川(稲荷森の水辺)水辺愛護会

「特別の被害はありませんでしたが、上流から流木、ゴミ等が堆積し、歩行できない場所ができ、除去に大変苦勞をしました。」



尾月：坊中広場の流木のかたづけ

### ○ 尾月水辺愛護会

「台風後のかたづけを行いました(大きい広場が水びたしになり、流木、ビニールゴミが押し寄せました)。」

### ○ 長倉町小川アメニティ愛護会

「\* 大量の雨水が一気に集中したため、遊歩道が冠水しました。土砂の侵食により、大きな石積みもズレました。」

\* アメニティの植栽に大きな被害はありませんでしたが、山の斜面の倒木がありました。いずれも栄土木事務所により早速に処理していただきました。」

## 自然環境を小中学生の総合学習の発表と共に語りあいましょ

### 第2回 キャリアコミュニケータープログラム 2004 in 横浜

入場無料

目的 社会と教育の融合を促進させること

主催 NPO法人 キャリア・ワールド  
支援 文化庁(全国ボランティアモデル事業)  
後援 いたち川OTASUKE隊(10周年記念事業)

1. 基調講演 「自然との共存」 キャリアコミュニケーター 和久井征治
2. いたち川OTASUKE隊10年間の活動報告 いたち川OTASUKE隊 宗森英夫
3. 子供達の総合学習報告など  
本郷中学校 「リン酸イオン大追跡、ウンチで調べる水質汚染」(指導 宮崎先生)  
笠間小学校 「みんなキラキラ笠間の子」(指導 小林先生、岡村先生、米良先生)  
桜井小学校 「栄区のホタル」(指導 粕谷先生)
4. ホタル紙芝居 いたち川OTASUKE隊 草本和子

協力団体  
栄区 いたち川水辺愛護会  
荒井沢市民の森愛護会  
泉区 和泉川水辺愛護会華陽クラブ  
亀谷戸せせらぎ水辺愛護会

会場 神奈川県立地球市民かながわプラザホール  
日時 2005年2月26日(土) 1:00~4:00  
1:30 開会 4:00 閉会  
本郷台駅徒歩5分(あーすぶらざ)

私(磯子)から公田に移り住んだ昭和三十七年頃の荒井沢川流域は現在の図書館近くまで田圃だった。当時は子どもとザリガニやオタマジャクシ取りによく訪れたが、子どもが大きくなるにつれ、荒井沢の谷戸から長い間遠のいていた。現在の荒井沢水辺は、当時余りにも奥深く感じ、来た覚えがない。

平成九年秋、荒井沢市民の森が開設されるとの噂を知り、下見に来て初めて荒井沢の地形を知った。現水辺の小川は家電や産業廃材が投げ捨てられ、荒れ放題だった。

平成十年五月、荒井沢市民の森が開園して、私も愛護会に入会した。まもなく栄土木事務所の事業により、水辺の造成が始まり、まったく見違える綺麗な水辺へと変化した。十月には上荒井沢水辺が開園となった。水辺愛護会は、市民の森愛護会が水辺も兼任することで発会した。基本活動は月一回の草取り、清掃、施設維持等を行い、草の繁茂する時期、荒天の後には市民の森と作業人員の調整を図りながら作業を行っている。兼任することで、市民の森の作業の行き帰りに水辺のパトロール、ゴミ拾いができ都合がよい。また、近くに住む方には毎日草花や樹木の手入れをして、水辺をいつも綺麗にさせていただいている。

最近、上流の市民の森より多数のカワニナが水辺に移り生息しており、夏、虫の大量に飛び交うことが楽しみです。水辺のすぐ隣に来年末には老人福祉施設が完成することになり荒井沢の人の出入りが急増することと思う。上荒井沢水辺は恰好の癒しの場となり多くの方が散策を楽しむ姿が目につく。変わり行く荒井沢、私たち水辺愛護会も新たな心構えを求められるのだろうか。(自然好)

## リレートーク 26 変わり行く荒井沢

26